

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2022年度支部活動報告（2023年5月28日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)				(A) (B) (C) (D)				その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)	地域防災拠点数 (A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数(区役所局含む)	
1	鶴見	31	1	1	5	・2022/4/23、7/2、8/6、10/8の各日、無線通信スキル向上と電波伝搬状況の確認を兼ねてJARLコンテストに移動運用参加 ・2022/12/06 ・区役所総務課防災担当様と打合せ：担当係長異動着任ご挨拶、12/16伝搬確認事前打ち合わせ、2023年度イベント活動打合せ（10/14（予）区民祭） ・2022/12/16 ・伝搬確認および支部内有志による訓練交信実施：伝搬確認前に装備＆空中線確認、点検 その他：11/6第5回鶴見川コンテスト実施：ユニークコール数295局、総QSO数14,230 伝搬確認機会の提供その他：11/6第5回鶴見川コンテスト実施：ユニークコール数295局、総QSO数14,230				
2	神奈川	25	2	2	6	・11/12 子安小学校（新子安駅近郊）防災訓練に4名（木村氏、右近氏、梅田氏、高崎）が参加、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・11/12 神奈川区役所の無線設備の動作確認を実施した。結果は良好であった。 ・12/16 神奈川区役所と横浜市役所間の通信実験を実施した。結果は良好であった。 ・中丸小学校（片倉町近郊）防災訓練に2名が参加し、その場で無線機の動作確認を実施した。 ・各拠点における無線機用バッテリー交換作業を実施のため、区役所では計画的に対応している。（拠点に予算割り振り、支払い済み） ・非通協への依頼が少ない理由は、拠点防災訓練は、拠点単位ではなく各自治会単位で対応しているためとのこと。				
3	西	12	0	0	0	2022年はコロナの影響で避難訓練が実施されず、そのため各拠点と区役所での非常通信訓練の活動をしていません。5月27日に西区役所主催の防災対策連絡協議会に出席。災害時でのアマチュア無線による非常通信の必要性について説明しました。6月に総会を行い、フィールドデーコンテストに参加することを確認。区役所と相談しながら設備や会場などの準備を進めてきました。ところが7月末になってコロナが蔓延したため、やむなく中止にしました。区役所には数か月に一度出向いて、無線機のチェックをしています。12月16日の電波伝搬調査では1200MHzのアンテナに問題があり、交信不能の結果に。この件については現在区役所の防災担当者と協議中です。				
4	中	15	2	23	234	1. 毎月第一日曜日20:30から145.20MHzにて月例通信訓練を実施。12回延べ176局が参加。また、関東近県で地震発生時は臨時の通信訓練を実施、7回延べ38局が参加。 2. R4.7.3 支部年次総会は、コロナ禍を勘案し前年同様のオンエア総会とし19局が参加。 3. 地域防災拠点訓練はコロナ禍で訓練内容縮小で実施。R4.11.12本牧南小、R4.11.19間門小に延べ6局が参加。 4. R4.12.16 電波伝搬調査のため中区役所からJR1YWGを運用。支部員5局が参加し各区との通信状況を確認。 5. R5.1.17 中区役所からの文書要請で、中区役所～福祉避難所間の情報受伝達訓練に参加。JR1YWG局開設、支部員（9局）が各所巡回・配置でデジ簡の現地指導を行った。 6. 支部役員の変更なし。支部員数は前年度より1名増の27名となった。				
5	南	25	1	1	15	2022年（令和4年） 通年、毎月第1日曜日20:00より438.32MHz（FM）にて区内各局とのオンエアミーティングを実施。 毎回10局程度の参加を得て、延べ120局の参加。 3月 支部総会をわらいZoomにて実施 4月 支部登録メンバーの報告を本部に報告 5月 協力会の総会に参加 8月 支部長会及び合同意見交換会に出席 横浜市総合防災訓練（金沢区支部）に応援参加 市役所にて開催の「横浜防災フェア」（磯子区支部）に応援参加 11月 支部長会及び合同意見交換会に出席 12月 市役所局⇄区役所局間の電波伝播調査・試験に参加 2023年（令和5年） 2月 市立南ヶ丘中学校での地域防災拠点訓練に参加 （南ヶ丘中学校⇄南区役所間の交信状況を公開） 支部長会及び合同意見交換会に出席 今年度も新型コロナによる行動制限下で、以前のような活発な行動が出来ない状況でした。 また、後援団体としての横浜南無線クラブ及び日本アマチュア無線連盟と連携した積極的な活動を支部員各局と協力しながら実施したいと考えております。				
6	港南	31	18	18	92	【区役所との協働活動】 ① 地域防災訓練（9月から1月） 港南支部が参加した訓練は18拠点で、昨年度の3倍となりました。 その他の拠点では、役員だけによる小規模な防災訓練を行った拠点が多数ありました。 ② デジタル簡易無線の取扱講習会サポート 拠点委員長様からのご要請により、2拠点において講習会を行いました。 非常通信協力会のメンバーによる、実際の無線操作の実習を含め、通信の秘密、電波法の遵守等につき講習を行いました。 【支部事業】 ① 支部総会を新型コロナ感染症対策対応上、書面による総会としました。 【支部員数】 128名 入会 1名 退会 5名				
7	保土ヶ谷	27	1	1	8	①理事会にて決定した会員間WEBコミュニケーションツール「DISCORD」を導入し、支部からの連絡事項や規約・災害発生時の活動フローチャートを閲覧出来るようにしました。また、支部員間が気軽なコミュニケーションを図れるよう、雑談ルームを設けたり、理事間が理事会を「DISCORD」上で出来るよう運営会議室を設け、日ごろからの支部員とのコミュニケーションの重要性を最大の課題として取り組める仕組みづくりを致しました（会員15名中14名が登録・義務とはしていないため）。 ②市立川島小学校防災訓練参加（川島小学校1名・区役所1名・移動撮影部隊1名）に参加致しました。また、区役所担当者にご無理をお願いし、各災害対策拠点付近と保土ヶ谷区役所とのレポート交換を実施（5拠点）した。保土ヶ谷特有の地形がどの程度の影響を与えているかを検証致しました。 ③引野理事を筆頭に、通信技術の向上を目的とした、有志による月1回程度の移動運用を実施。近場がメインではあるが城ヶ島まで足を伸ばしたりもした。各メンバーが色々と工夫をされている移動設備や自作のアンテナ等、有事の際を想定した設営・撤営の訓練並びに交信における通信技術の向上等、有意義に行われている。またこれをきっかけに、支部長の中田をはじめ色々なメンバーが個々に移動運用を活発化させており、このまま継続・そして伝承をしていきたいと考えている。 ④2023年頭の支部長からの挨拶（DISCORD） 1月2日に中田からの年頭を挨拶をDISCORDのビデオチャットを使い実施。日ごろの活動に対しての謝意を今期の目標を提言 ⑤保土ヶ谷区災害対策協議会総会参加（中田） ⑥保土ヶ谷区災害対策協議会主催「おうちで実践！新しい防災術」講演会出席（中田・吉野理事） ⑦伝搬調査参加（吉野理事・手島理事） ⑧故障中であったIC9700修理完了における伝搬確認（中田・吉野理事・手島理事・増田さん・渡邊さん） ⑨ロールコールの再開 震災から12年という節目ということもあり、風化させないために3.11からロールコールを再開・キー局は持ち回り制で日程はキー局が決める形で再開 ⑩ネットにおける広報活動強化のため、Twitte（@osohodogaya）を開設。また、支部のホームページ（https://osohodogaya.jp/）を開設準備中。				

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2022年度支部活動報告（2023年5月28日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)				その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)	
		地域防災拠点数 (A)	(A) のうち通信訓練実施の拠点数	(C) のべ訓練回数	(D) のべ動員人数 (区役所局含む)	
8	旭	37	31	31	131	1. 規模・概要 ① 統制局：JR1YWK（旭区役所クラブ） JQ1ZJI（第二旭区役所クラブ） ② 防災拠点無線局： 37局／37拠点 開局済み ③ 連携社团局： JQ1ZJB(旭区SVRクラブ)、 JQ1YSR(あさひ無線愛好会) ④ 支部会員： 総数124名（退会0名） 令和5年3月31日時点 2. 防災訓練（拠点・連合自治会）とYWK活動 本年度は、新型コロナウイルスの対策をしたうえで、昨年より多くの拠点で訓練及び機材点検を実施することができました。 ① 防災訓練及び無線機材点検実施 19日間、延べ31会場、訓練参加支部会員数、延べ131名 31拠点局無線機材点検実施 ② 区役所局運用（JR1YWK 庁舎： 7日 JQ1ZJI移動：12日） ③ 支部役員会（不定期） 9月10日、11月12日、1月14日、3月18日（全てZoom会議） ④ 5月14日 支部定期総会（COVID-19により、メール、ZOOM併用による総会を実施） ⑤ 5月22日 対面で開催された本部総会に支部長他1名が参加。提示された2021年度事業報告、会計報告、2022年度事業計画（案）、予算（案）に旭区支部として賛成票を投じた。 ⑥ 支部長会は、対面で3回開催され支部長が参加（2022年8月14日、11月26日、2023年2月18日） ⑦ 12月16日、市役所～区役所間電波伝搬試験を実施 ⑧ ロールコール 毎月第二土曜日 438.08MHz 午前6：30～ ⑨ YWKホームページの運用 3. 地域とYWK活動 ① 12月4日、ZoomによりYWKリモート忘年会を実施 4. 特記事項 ① 拠点局無線免許有効期限満了に伴う再免許手続き 15局
9	磯子	21	12	33	172	・「地域防災拠点」訓練のほか「連合地域の防災訓練」「出動体勢訓練」「訓練時の自宅周辺被害報告訓練」診療所・薬局の「幟旗掲出確認報告訓練」等を行っている。 しかし、平常年と異なり、新型コロナウイルス禍で活動は大きく縮小して実施されており、参加の数字は昨年度と同様に例年より大きく減少した。 その他「各種イベント」等への参加を合わせれば、58回、述べ543人が参加した。 ・地域防災拠点訓練は、区役所局を合わせて19か所で56人が参加した。 ・上記の内「出動体勢訓練」は横浜市どこかで震度3以上の地震があれば、昼夜を問わず地震発生から30分間を訓練として、被害状況報告を無線で収集し、区役所へ報告する訓練であるが、今回は対象地震の発生が4回とやや少なく、延べ66人が参加した。この訓練は2005年から行っており通算では133回実施、延べ1338人が参加している。 ・「幟旗掲出確認報告訓練」は始めてから4年目であり参加者は21人だったが、全22機関を約1.5時間で漏れなく確認し区役所の福祉保健課へ伝えた。 ・その他の参加イベントとして「防災パネル展」に14人、「磯子祭り」に18人、「防災スマイリングフェア」に10人、「FDコンテスト」に12人が参加した。 ・毎月第1土曜日20～21時に、ロールコールを実施し、情報の共有と親交を深めており、令和4年度は12回で延べ217人が参加した。 ・趣味のアマチュア無線クラブ「JARL横浜磯子クラブ」と共催でミーティングも隔月に実施し、5回77人が参加。また、月2回の無線技術を学ぶ「木曜勉強会」実施している。 ・アマチュア無線による情報伝達のほか、特に避難所拠点へ来る前の地域の連絡手段として特定小電力トランシーバの普及に力を入れているが、今年度は「磯子まつり」「防災スマイリングフェア」体験コーナーを設けて普及活動を行った。 ・会員の増減は、令和3年度末時点で、逝去・高齢の退会もあり減少もあったが新規加入者もあり現在は丁度100人となっている。
10	金沢	26	12	12	27	1)地震発生時の状況報告（市内で震度3以上の地震を観測された場合に被害状況を無線で収集し、結果を区役所へ報告する・・・金沢区支部の自主活動） 4月4日、11月14日の2回発生 のべ10局参加 2)地域防災拠点運営委員会・防災訓練に参加 ①地域防災拠点運営委員会参加実績（）内は前年度比 8拠点（+1）のべ参加回数 15回（+3）のべ参加会員数 16人（+1） ②地域防災拠点防災訓練参加実績 12拠点（+3）のべ参加回数 12回（+3）のべ参加会員数 17人（±0） 3) 本部主催の市役所、区役所間の電波伝搬試験 市役所局は新庁舎の無線設備から初めての運用 4)定例オンエアーミーティング・災害想定訓練 ①定例オンエアーミーティング 毎月第1土曜 21:00～ 実施 ②災害想定通信訓練 6月・9月・12月・3月の定例オンエアーミーティング開始前に実施 強い地震が発生、電気・電話等の不通を想定し、自己・周辺・インフラの状況は簡潔に報告する。 5)イベント出展 8月21日（日）横浜市総合防災訓練 富岡東中学校、並木十二天公園にて 10月15日（土）金沢まつりいきいきフェスタ 海の公園にて 6)その他 ・代表者変更にともない、無線局免許状の変更申請を実施 ・8月16日、2月16日 金沢区役所の防災担当との連絡会を実施 ・5月27日、3月16日 金沢区主催の地域防災拠点運営委員会 連絡協議会に出席 あいさつと非常通信協力会の活動について簡単に説明 ・勉強会：「令和3年3月10日 法令改正 社会貢献活動等、免許を持たない者の運用」について解説した自習教材を作成し、ホームページに掲載
11	港北	29	29	29	148	・支部総会：4月 港北公会堂会議室にて3年ぶりに支部総会実施、新入会員等顔合わせができた ・地域防災拠点受伝達訓練：4月～12月 29拠点すべて実施、防災備蓄車の機材点検・電池補充及び区役所局との通信状態確認を兼ねた無線通信訓練ができた ・ロールコール：4月～3月 各月2回計24回、通算296回連続実施 ・移動運用：7月 非常時のV/U運用訓練を兼ね、7月の6m&Downコンテストに合わせて太尾見晴らしの丘公園にて移動運用を実施 ・ふるさと港北ふれあいまつり：11月 横浜アリーナにて行われたふるさと港北ふれあいまつりへブース出展を行い活動のPRを行った あいにくの荒天だったが100部用意した防災マップは昼過ぎに配布完了、地域防災拠点の位置や区役所との通信を図示した展示パネルにて多くの方に活動の説明ができた ・医療救護隊参集実施訓練への協力：12月 港北区医師会実施の医療救護隊参集訓練にてMCA無線通信が困難な場合の参集拠点2ヶ所と区役所間通信訓練に協力

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2022年度支部活動報告（2023年5月28日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要(右参照)				(A)	(B)	(C)	(D)	その他活動・報告事項など							
		(A)	(B)	(C)	(D)												
		地域防災拠点数 (A)				(A) のうち通信訓練実施の拠点数				のべ訓練回数				のべ動員人数 (区役所局含む)			
12	緑	21	12	12	48	【総会関連】 ・5月14日支部総会 【行政との調整】 ・4月22日 緑区防災ネットワーク運営委員会に支部長が参加（書類等による開催） ・8月～12月 地域防災拠点訓練時の通信訓練日程・要員調整（メール） ・3月11日 令和4年度活動状況および会員状況を報告 【訓練活動等】 ・430MHz帯で定例チェックイン交信を実施（月2回 計24回） ・地域防災拠点訓練 9/3、9/4、9/10、10/2、10/29、11/6、11/20、12/18 12拠点で実施 ・12月16日 市役所～区役所間電波伝搬調査へ参加 【広報活動】 ・5月14日 緑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（書類による開催）へ当会紹介資料提出 ・10月16日 緑区民まつりに参加 【研修活動】 ・12月12日 緑区支部会員向けに横浜市役所・横浜市民会見学会を開催 ・3月11日 緑区防災講演会に会員多数参加											
13	青葉	41	20	31	377	2023年3月31日現在の会員数:82名(22年74名←21年67名←20年62名) ・地域防災拠点訓練はコロナ禍回復基調でもあったが、20拠点31回の訓練を実施。参加局のべ377局(21年度146局、20年度128局) ・地震発生時に青葉区基幹周波数で安否確認・周辺情報収集を実施。32回(21年度33回、20年度20回)の対応実施で延べ参加数486局(21年度251局、20年度202局)。 ・OAM（毎週土曜日夜21～21:30）52回実施、延べ1581局(21年度1307局、20年度846局)参加。平均参加局数30.4局(21年度25.1局)年間1度以上参加した局の比率71% 51局(21年度63% 46局) ・横浜青葉メディアカル無線クラブ(JQ1YVN:四師会:医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会)との連携、合同OAM実施。 ・支部定例会を8回実施延べ188局参加。年度途中からはZoomとリアルハイブリッド開催。支部の課題や区・医師会との連携、空白拠点対策などを議論した。 ・青葉区地域防災拠点委員長会議(6月、書面決議)に協力会活動方向資料添付PPT13枚。ビデオを作成横浜市のyoutubeチャンネルに掲載。 ・青葉区支部オリジナル支部員募集ポスターを1000部印刷。区役所、地区センタ、区内全郵便局、自治会掲示板に掲載。今年度は13人の入会。 ・青葉区災害時医療検討部会に主要メンバーとして継続参加。10回開催。MCA無線活用訓練を主催メンバとして運営。12定点診療拠点と拠点病院等を含む訓練実施 ・2006年度スタートした地域定点診療拠点に対応する医療四師会との合同訓練中止。青葉区災害時医療拠点通信訓練コロナのため中止。 ・昭和大学藤が丘病院訓練、青葉区民祭、防災フェスティバルなど区内の防災関連プログラムに参加し、区内での存在感・ポジションの確立を図った											
14	都筑	27	14	14	71	・27拠点のうち14拠点で通信訓練（情報受伝達訓練）を実施し、他は中止もしくは通信訓練中止となった。 ・区役所の防災関係会議（地域防災拠点運営委員会連絡協議会及び災害対策連絡協議会）に参加した。 ・区役所予算で27拠点に配備している無線機の更新は3年目であるがメーカー製造中止となり対応を検討中。 ・支部総会、忘年会を対面形式で開催した。 ・毎月2回、ローコールを実施した。430MHzFMのほか、SSTV受信訓練、1200MHzFMなどを行った。 ・データ共有ツールとしてグループウェア「キントーン」の使用を開始した。会員のうち50人がユーザー登録済である。LINEグループには55名が登録済。 ・地震発生時の初動訓練を随時行った。											
15	戸塚	35	10	27	243	・全35地域防災拠点の内10の拠点訓練にて無線通信訓練を要請され実施した。参加者総数は延べ46名。このうち1拠点では画像ファイル伝送による情報伝達も実施。 ・上記訓練の他、事前了解のもと拠点訓練実施日に戸塚区支部の活動として無線通信訓練を模したリハーサルを実施し、来年度に地域防災拠点運営委員会の正式な訓練プログラムに組み入れて頂くためのアピールを行った。参加者総数は延べ8名 ・支部局員の設備確認と発災時の初動通信の訓練を目的として行っているローコールは、従来2回/月の実施で定着したものと判断。本年度は6月から1回/月に変更して継続的に実施している。本年度は計14回の実施で参加者総数は数延べ189名。 ・2022/09/24の横浜市の土砂災害警戒レベル4情報（避難指示）を契機として、発災時初動通信訓練を実施。参加者数4名。 ・横浜市アマチュア無線非常通信協力会の紹介活動として以下の①②を、いづれも戸塚区役所ホールにて実施。 ①「とっかお結び広場」にて活動紹介パネルを展示(11/18～12/4)し、広場当日(12/4)にはブースを設け、ビデオ映像、トランシーバー展示等々で活動を紹介した。 ②「とっか防災ネット」主催の「とっか防災フェスティバル」に共催者として参加(1/22)。ブースを出展し来場者に対し①同様の活動紹介を行った他、事前予約のあった地域防災拠点運営委員会メンバー約20人に対し非常通信協力会の設立趣旨や活動などについて講演した。											
16	栄	20	16	19	146	・市内最大震度3以上の地震発生時に出動態勢訓練を実施。1回につき30分程度、年度内6回、延べ参加局数50 ・通信訓練、無線設備点検、通信パス確認を兼ねた月例オンエアミーティングを12回実施。延べ参加局数82 ・5月：非常通信協力会本部総会へ参加 ・7月：通信訓練を兼ねた栄区内電波伝搬調査。区役所局/16地域防災拠点(全20か所)・22福祉避難所(全24か所)間の144MHz通信パスを確認。 巡回支援を想定して移動局はすべてハンディ+付属ホイップアンテナで対応、結果は全施設とも良好であった。参加局数14 ・9月：発災時支部対応方針を改訂(地域防災拠点・福祉避難所一覧表ならびにロケーションマップ改訂) ・11月：支部勉強会開催。テーマは「横浜市の風水害対策について」と「アマチュア無線の社会貢献活動での活用と小中学生のアマチュア無線体験機会の拡大」 ・12月：市役所/区役所間電波伝搬調査へ参加 ・12月：区役所局無線設備点検を実施、144/430/1200MHzの3バンドにおいて無線機・アンテナとも良好に稼働することを確認 ・3月：支部年度総会を開催。参加人数24(議決権委任を含む) ・3月：退会者発生により社団局の無線従事者解任届を総通に提出 ・8月、11月、2月：本部主催支部長会へ参加 ・栄区支部内の会員QTHロケーションマップを随時更新し会員及び区役所へ配布 ・広報活動として支部HPを継続的に運用。累積アクセス数24,800超 ・年度内新入会員数0、退会者数4(SK1、QSY1、自由意志2)、現支部会員総数27											
17	泉	22	16	20	46	・支部総会（区役所会議室）の実施 ・泉区拠点運営委員会総会に出席 ・泉区防災連絡協議会総会に出席 ・いずみ区民まつり、泉区防災フェアに出展し災害時における非常通信協力会の役割など広報 ・防災拠点訓練に参加、防災倉庫に保管している通信設備の点検を行った ・拠点、自治会町内会にデジタル簡易無線の取り扱い説明会と通信訓練の指導を行った。 ・月例ローコール（延べ246局）の実施 ・市内震度3以上の地震による、直後の通信訓練を実施し延べ50局が参加 ・会員相互の親睦を兼ねた、不用品交換会を実施し区外からも含めて約300局が集まった。 ・電波伝搬調査実施に伴い、区役所局の点検を行った											
18	瀬谷	15				・6月14日 瀬谷区防災対策連絡協議会に出席。											

この報告に関する問い合わせ先：支部長会担当・山岸 純 メールアドレス：c571c56160d51498@ybb.ne.jp